

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど原町（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間でコミュニケーションが取れており、情報の共有やプログラムの検討、支援に関するカンファレンス等、活発に意見交換が出来ている。	それぞれの視点での見立てを大切に多角的に子供の姿を見る事を意識している。	年度ごとスタッフ構成が変更になる事もあるが、お互いに協力する体制が崩れないよう、話が出来る場や雰囲気作りに留意し、チーム力を向上させていく。
2	活動プログラムの中で、実際に食べ物に触れる機会を多く持っている。	偏食が強いお子さんや食に興味が薄いお子さんが実際に食材に触れ、調理する事で興味を持ちやすい環境を設定している。一緒に食べる空間も共有する事で、楽しい経験になるようにしている。	興味をより育てるため、野菜を育てる過程も経験できるように取り組んでいく。
3	他機関と連携を図り支援に取り入れている。	児童クラブとの連携や他事業所への移行サポートなど情報の共有を図っている。	継続して良い連携が図れるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	市街地より離れており、買い物や外食の他、公共の場を利用した活動に取り組みにくい。	移動時間がかかる事から行事での実施をしているが、実施できる回数に限りがある。	夏休み期間等、活動に合わせ利用時間を柔軟に変更し社会訓練が多く経験できるようにしていく。
2	学童児の利用枠が多く確保できない。	多機能事業所の為、未就学児に比べ確保できる枠が少ない。	他事業所との併用や移行などをご紹介すると共に、未就学児期よりお子さんの正しい理解や関係機関との連携方法などを保護者様に伝え利用終了に向け計画的に関わっていくようにする。
3	小学校との連携が少ない。	小学校終了後の時間帯が療育時間帯と重なる事から、連携が取りづらい状況がある。	スタッフ間で協力し、小学校と情報の共有や対応に関する相談など連携を図る時間が確保できるようにしていく。